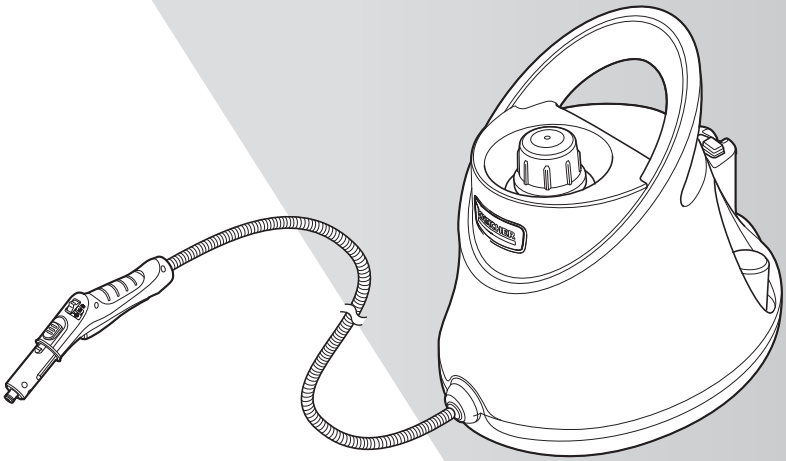
KÄRCHER

makes a difference

ケルヒャー家庭用スチームクリーナー

SC JTK 20

取扱説明書



この度は、ケルヒャー家庭用スチームクリーナーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用前に取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。お読みになられた後は、本書をすぐに取り出せる場所に保管してください。

※仕様・外観は、開発・改良により予告なく変更する場合があります。

※この製品は家庭用です。業務用としての使用は想定しておりません。

SC JTK 20
2018.02
5.967-909.0

仕様一覧

SC JTK 20 仕様一覧	
品番	1.513-242.0
電源	100 V
消費電力	1,500 W
スチーム吐出圧力	0.32 MPa (※ 1)
安全弁作動圧	0.6 MPa ± 0.05 MPa (※ 1)
ボイラー加熱温度	約 143 ℃
ボイラータンク容量	1.0 L
ヒートアップタイム	約 6 分 (※ 2)
寸法	304 X 231 X 287 mm
質量	2.7 Kg
電源コード長さ	4 m
＜使用の目安＞	
清掃面積	75 ㎡ (※ 3)
スチーム連続噴射時間	約 30 分
＜交換時間＞ ※ 4	
安全バルブ用 O リング	約 200 時間（約 200 回使用）
安全バルブ	約 1,000 時間（約 1,000 回使用）
定格使用時間 ※ 5	1 時間
防水性能	IPX4

※ 1　1MPa=10.2kgf/㎠
※ 2　水温 20℃の場合
※ 3　一般的な住宅の汚れに対し、1 回の給水で清掃できる面積の目安
※ 4　1 回の作業で 1 時間使用した場合の回数
※ 5　電源スイッチが入っているときの合計時間

目次

はじめに

はじめにお読みください....4
- 梱包内容の確認....4
- 各部の名称と機能....5

ご使用前の注意事項....6

はじめてお使いになる前に....10
- スチームクリーナーとは？....10
- スチームクリーナーの基本的なしくみ...10

準備

STEP 1：ボイラーに給水する....11

STEP 2：電源プラグをコンセントに差し込む....13

STEP 3：ヒートアップを行う....14

使い方

洗浄を開始する....15

アクセサリーを取り付ける....16
- 各種アクセサリーの取り付け方....16
- ノズルヘッドとブラシの取り付け....17
- ハンドブラシとマイクロファイバーカバーの取り付け....17
- フロアノズルの取り付け....18

エリアごとの掃除方法....19

洗浄を中断、終了する....22

用途別一覧表....24

お手入れと点検、保管

ボイラーのすすぎと洗浄....28
- 水ですすぐ....28
- ボイラー洗浄剤を使用して洗浄する....28

点検と保管....29
- 使用前点検....29
- 定期点検....30
- 保管....30

その他

困ったときは....31

オプションアクセサリー一覧....32

補修部品....33

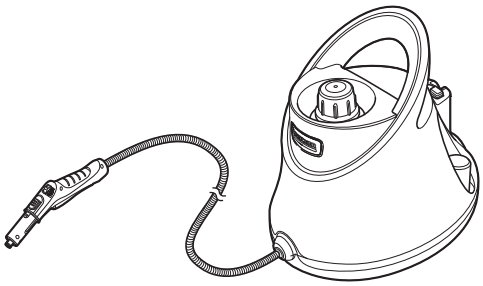
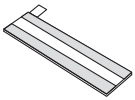
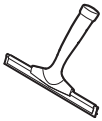
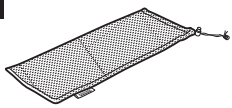
保証書....34

製品に関するお問い合わせ....36

はじめにお読みください

梱包内容の確認

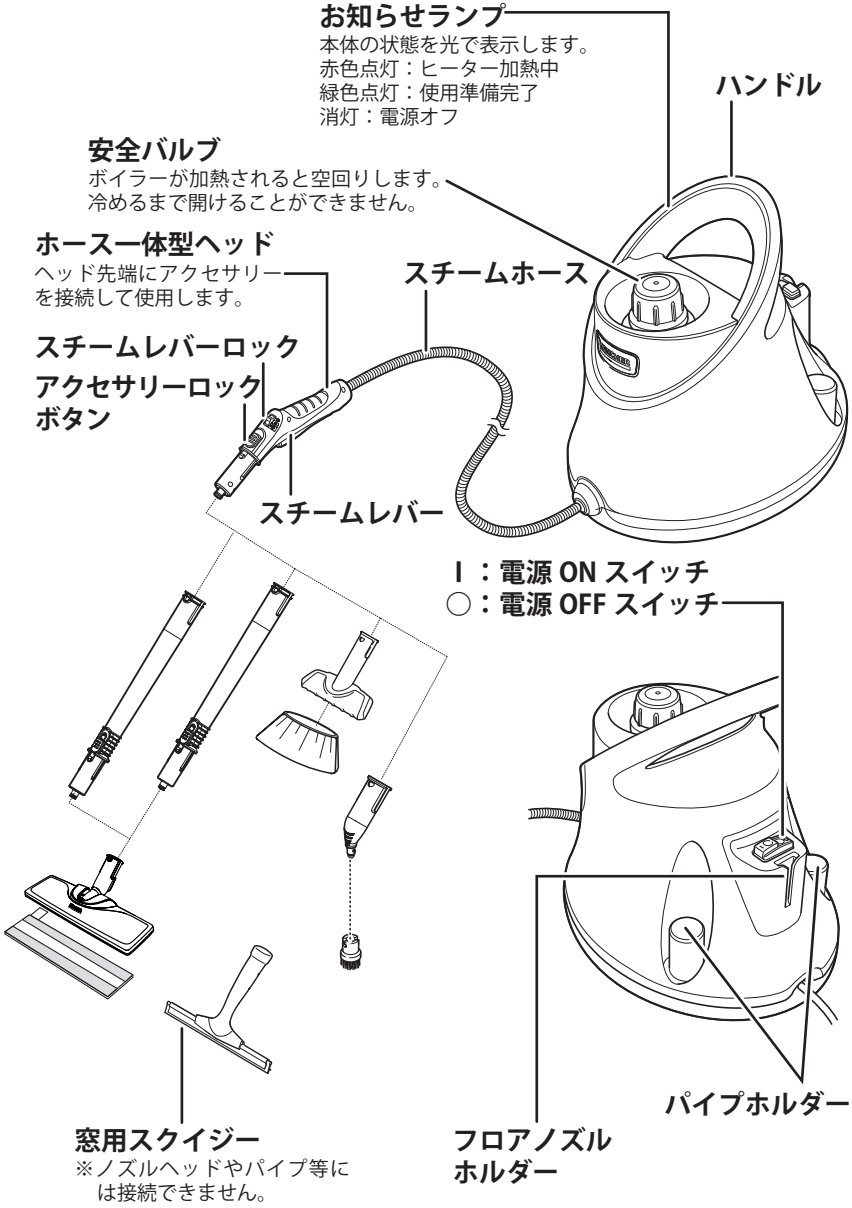
本機をご使用いただく前に、全ての付属品が揃っていることをご確認ください。
仕様変更・セット品の変更により、製品の形状と図・名称が一致しない場合があります。

1  本体		2 パイプ　2本
		3 ノズルヘッド　1個
4 ブラシ 黒　1個	5 マイクロファイバーカバー 1枚	6 ハンドブラシ
7 イージフィックス フロアノズル	8  イージフィックス用マイクロファイバークロス　1枚	9  窓用スクイジー
10 計量カップ1個	11  アクセサリーバッグ	12 取扱説明書　1部（本冊子）

MEMO

- この製品はテスト後に出荷されているため、水分が多少残っている場合がありますが製品の性能に問題はありません。

各部の名称と機能


お知らせランプ
本体の状態を光で表示します。
赤色点灯：ヒーター加熱中
緑色点灯：使用準備完了
消灯：電源オフ
ハンドル
安全バルブ
ボイラーが加熱されると空回りします。
冷めるまで開けることができません。
ホース一体型ヘッド
ヘッド先端にアクセサリーを接続して使用します。
スチームホース
スチームレバーロック
アクセサリーロックボタン
スチームレバー
I：電源 ON スイッチ
○：電源 OFF スイッチ
パイプホルダー
フロアノズルホルダー
窓用スクイジー
※ノズルヘッドやパイプ等には接続できません。

ご使用前の注意事項

使用目的について

- 本製品は高温のスチームを噴射して、汚れを落とすための製品です。それ以外の目的で使用しないでください。
- 本製品は一般家庭用です。業務用として使用しないでください。
- 本書に記載されていない使用方法によって生じた損害について当社は責任を負いません。

使用対象者について

本書に従って取り扱うことができない方は使用しないでください。

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、本製品を安全に正しくお使いいただき、ご自身や他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するためのものです。
注意事項を「警告」と「注意」に区別して明示していますので、お使いの際には、必ずお守りください。

⚠警告	この表示に従わずに、誤った扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示に従わずに、誤った扱いをすると、人が軽傷を負う可能性がある内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

次の記号は、注意（警告を含む）を促す内容であることをお知らせするものです。

⚠	安全にかかわる注意情報を示しています。

次の記号は、してはいけない内容であることをお知らせするものです。

⃠	してはいけないことを示しています。

次の記号は、実行しなければならない内容をお知らせするものです。

❗	実行しなければならないことを示しています。

一般的なご注意

⚠警告

⃠ **子供には触らせないこと**
ケガをする恐れがあります。

⃠ **分解や改造をしないこと**
火災、感電、ケガの原因になります。
修理が必要なときはケルヒャー ジャパン修理センターへご連絡ください。

付属品や交換用の部品はケルヒャー純正品を使用すること
純正品以外を使用すると火災、感電、ケガの原因になります。

本体、電源プラグに水をかけないこと
感電やショートする恐れがあります。

修理はケルヒャー ジャパン修理センターに依頼すること
個人の修理で生じたケガ、事故、不具合に関しては一切の責任を負いません。補修部品の販売はいたしかねます。

使用時のご注意

⚠警告

火気のそばに置かないこと
本体が変形し故障や火災につながる恐れがあります。

ぬれた手で電源プラグを触らないこと
感電する恐れがあります。

スチームを人体に向けて使用しないこと
ヤケドの原因になります。

雨天時に野外で使用したり、水を本体に直接かけたりしないこと
感電やショートの恐れがあります。

スイッチを入れたまま電源プラグを抜かないこと
感電する恐れがあります。

本機から離れるときは、スイッチを切ること
使用方法を知らない人が操作し、ヤケドやケガをする恐れがあります。

異音、異臭、過熱時は直ちに使用を中止し、コンセントからプラグを抜くこと
火災、感電、ヤケド、ケガの原因になります。

お湯を入れて使用しないこと
お湯を入れると機器が正しく作動せず、ヤケドを負う恐れがあります。 必ず常温の水を使用してください。

安全バルブのＯリングを確認すること
電源を入れる前に、Ｏリングに亀裂、割れなどがないことを確認をしてください。不具合がある場合は新品に交換してください。

使用中に安全バルブの上方で作業したり、安全バルブを覗きこんだり触ったりしないこと
安全バルブには、ボイラー圧力が高くなるのを防ぐための圧力逃がし弁が組み込まれています。
故障やメンテナンス不備などでボイラー内部の圧力が異常に高くなった場合、圧力逃がし弁が作動して高温の蒸気が噴出し、ヤケドを負う恐れがあります。

本体が熱いときは、安全バルブを素手で触ったり開けたりしないこと
本体が人肌以下まで冷却されるまで、安全バルブを素手で触ったり開けたりしないでください。熱湯が噴出し、ヤケドを負う恐れがあります。

転倒の恐れがある不安定な場所や、本体を倒した状態で使用しないこと
本体が倒れた場合、ボイラー下部に溜まっている熱湯がノズルから噴出し、ヤケドを負う恐れがあります。

⚠注意

熱に弱い床材の上で使用しないこと
スチームの熱で変形・変色する恐れがあります。

洗浄前に材質を確認すること
洗浄部分の材質によっては、変色・変形など洗浄物を傷める恐れがあります。

窓ガラスを清掃するときは以下のことに注意すること
・ノズルを窓ガラスに近づけすぎない。
・1 か所に留めてスチームを当てない。
ひび割れの原因になります。
ワイヤー入りガラス、厚板ガラスの掃除は特にご注意ください。 ガラスの膨張率の違いにより割れる場合があり、ケガをする恐れがあります。

ガラス製品に傷がある場合は洗浄しないこと
割れる場合があります。

違和感や熱いと感じたら、直ちに使用を中止すること
スチームレバーを長時間握り続けて使用すると低温ヤケドを負う場合があります。 違和感や熱いと感じたら、直ちに使用を中止してください。

スチームホースを無理に引っ張ったりねじったりしないこと
スチームホースが損傷します。

アクセサリーは確実に取り付けること
確実にロックされていない場合スチームが漏れ、ヤケドの原因となります。

スチームレバーロックをかけること
アクセサリーの着脱はスチームレバーをロックした状態で行ってください。 ロックしていない場合、スチームレバーに誤って触れてスチームが噴出し、ヤケドを負う場合があります。

水道水のみを使用すること
井戸水、アルカリイオン水、酸性水などを使用すると故障の原因になります。

溶剤（シンナーなど）、洗剤、油（ガソリンなど）、薬品などをボイラーに入れて使用しないこと
故障、ヤケド、健康被害の原因になります。

コンセント、電源プラグ、電源コードについてのご注意

⚠警告

感電・ショート・火災の原因になります。

タコ足配線はしないこと
複数の電気製品（パソコン・電子レンジ・ドライヤーなど）を同じコンセントで使用した場合、電源ケーブル、コンセントや屋内配線の過熱につながり、火災を引き起こす恐れがあります。

コードを引っ張らないこと
引き抜くときは先端のプラグを持ってください。コードが損傷すると、感電やショートを起こし火災を引き起こす恐れがあります。

電源プラグは確実に差し込むこと
コンセントに接続した際にゆるみ、ガタつきがある場合、製品や電源プラグ、屋内配線の過熱につながり、発火を引き起こす恐れがあります。

電源プラグが変形している場合は使用しないこと
電源プラグが変形していたり、電源プラグの歯が曲がっている場合は、製品や電源プラグ、屋内配線の過熱につながり、発火を引き起こす恐れがあります。

家庭用 100V のコンセントを単独で使用すること
本製品は 1500W 仕様です。
他の電気製品と同じコンセントを共用しないでください。 洗面化粧台のコンセントでは使用できません。

延長コードは、定格 15A、1500W 以上で 10m 以下のものを使用すること
屋内配線の加熱につながり発火を引き起こす恐れがあります。

コードリールは完全に伸ばして使用すること
コードリールのコードを巻いたまま使用すると、コードリール、製品や延長コード、屋内配線の過熱につながり、火災を引き起こす恐れがあります。

保管場所のご注意

⚠注意

凍結する場所には保管しないこと
凍結した場合、ボイラーが故障します。

お手入れについてのご注意

⚠警告

500 作業時間ごとに定期点検を実施すること
定期的にケルヒャー ジャパン修理センターによる有償点検を受けてください。
例：1 日に合計 2 時間程度使用する場合、半年を目安に有償点検の実施が必要です。
点検を実施しない場合、ボイラーの加熱不良、過熱、スチーム吐出不良などのさまざまな不具合が生じます。安全バルブから高温の蒸気が噴出し、ヤケドやケガをする恐れがあります。

使用 50 時間ごとにボイラー洗浄（スケール除去）を行うこと
スケール（水あか）がたまると故障の原因となり、安全バルブが作動する場合があります。必ず純正ボイラー洗浄剤（スケール除去剤）を用い定期的にボイラーの洗浄（スケールの除去）を行ってください。

ボイラーに残った水の排出は、本体冷却後に行うこと
本体が人肌以下まで冷却されるまで、安全バルブを開けないでください。熱湯が噴出し、ヤケドを負う恐れがあります。

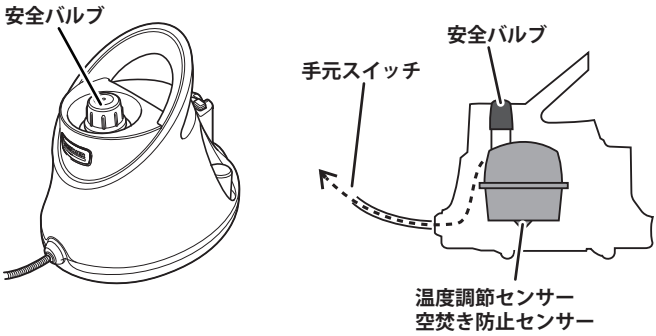
アクセサリー接続口の O リングが装着されていない、もしくは損傷している場合には使用しないこと
スチームが漏れてヤケドの原因となります。

はじめてお使いになる前に

スチームクリーナーとは？

スチームクリーナーは圧力鍋としくみが似ています。
水を入れ、密閉したボイラーで約 143℃まで熱し、スチームを発生させます。
吐出されるときの温度は約 100℃と高温でさらっとしたスチームが特徴です。
油汚れなど温めると落ちやすい汚れに効果的です。
水分が少ないのでご家庭のさまざまな場所でお使いいただけます。

スチームクリーナーの基本的なしくみ



温度調節センサー
ボイラー内の温度が一定温度に達すると加熱を止め、温度が下がると再度加熱を繰り返すので異常加熱の心配がありません。

空焚き防止センサー
ボイラー内の水が無くなると、自動的に加熱を停止します。

安全バルブ
使用中は、給水口を開けることができない設計です。

手元スイッチ
手元のスチームレバーを握っている間だけスチームを出します。スチームレバーを放すとスチームも止まるので安心です。

MEMO

- 熱に弱い材質、壁紙、プラスチックなどは変形・はがれなどの恐れがあります。目立たないところで試してから使用してください。

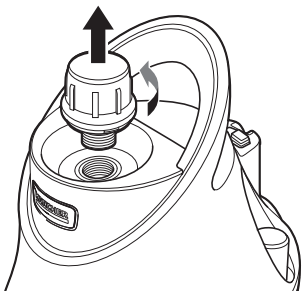
STEP 1：ボイラーに給水する

⚠警告	• **本体が熱いときは、安全バルブを開けないこと** 熱水が噴出し、ヤケドを負う恐れがあります。 • **お湯を入れて使用しないこと** お湯を入れると機器が正しく作動せず、ヤケドを負う恐れがあります。 必ず常温の水を使用してください。 • **安全バルブの O リングを確認すること** 電源を入れる前に、O リングに亀裂、割れなどがないことを確認をしてください。不具合がある場合は新品に交換してください。
⚠注意	• **水道水のみを使用すること** 井戸水、アルカリイオン水、酸性水などを使用すると故障の原因になります。 • **溶剤（シンナーなど）、洗剤、油（ガソリンなど）、薬品などをボイラーに入れて使用しないこと** 故障、ヤケド、健康被害の原因になります。

1 安全バルブを取り外す

以下のことを確認し、安全バルブを取り外します。

- 電源スイッチがオフになっている
- 電源プラグがコンセントに差し込まれていない
- 本体が冷めている

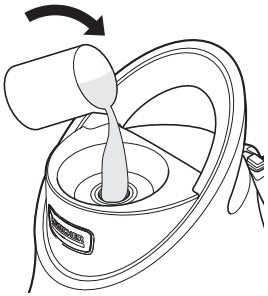


MEMO

- 長期間使用していなかったときは、使用前にボイラー内を水ですすいでください。

2 ボイラーに水を入れる

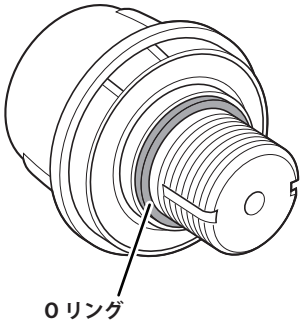
ボイラーに常温の水道水をゆっくりと注ぎます。
水は入れ過ぎないようにしてください。入れ過ぎるとスチームを十分に発生させることができず、湯が出ることがあります。



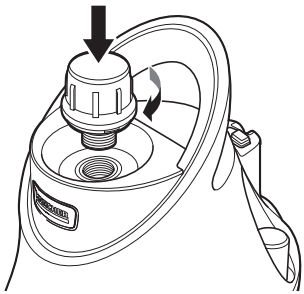
最小使用給水量：0.5 L
最大使用給水量：1.0 L

3 安全バルブを取り付ける

1 安全バルブの O リングに亀裂や割れなどの異常がないか確認します。
異常がある場合は、新品に交換します。
O リングを取り外した場合は、元の位置に取り付けます。



2 安全バルブを本体に取り付けます。



MEMO

- 給水口の周りにこぼれた水は、タオルなどで拭き取ってください。こぼれた水が加熱中に蒸気となり、スチーム漏れと誤認する場合があります。
- ヒートアップ中およびボイラー内の温度が高い間は、安全バルブは空回りして開けることができません。

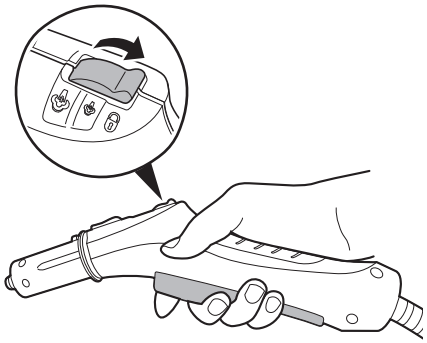
STEP 2：電源プラグをコンセントに差し込む

⚠警告	• **家庭用 100V のコンセントを単独で使用すること** 分岐タップや延長コードで他の機器と同時に接続すると、屋内配線の加熱につながり発火を引き起こす恐れがあります。 • **延長コードは、定格 15A、1500W 以上で 10m 以下のものを使用すること** 屋内配線の加熱につながり発火を引き起こす恐れがあります。 • **コードリールは完全に伸ばして使用すること** 屋内配線の加熱につながり発火を引き起こす恐れがあります。 • **電源プラグは確実に差し込むこと** コンセントに接続した際にゆるみ、ガタつきがある場合、製品や電源プラグ、屋内配線の過熱につながり、発火を引き起こす恐れがあります。

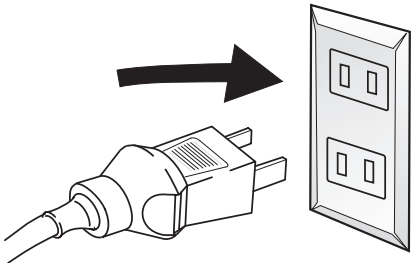
1 スチームレバーロックを確認する

1 スチームレバーロックがロック位置〔🔒〕になっていることを確認します。

2 スチームレバーを握り、レバーが動かないことを確認します。



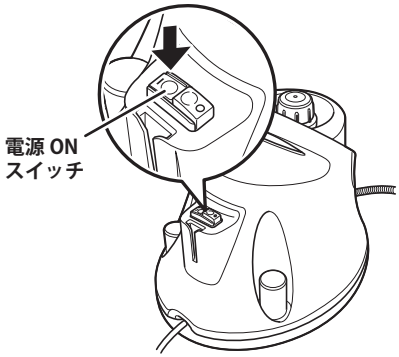
2 電源プラグをコンセントに差し込む

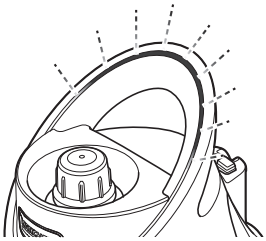


STEP 3：ヒートアップを行う

1 電源 ON スイッチを押し、ヒートアップを開始する

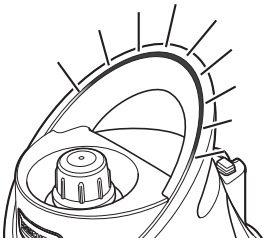
電源 ON スイッチ〔I〕を押します。
本体ハンドル部のお知らせランプが赤色でゆっくりと点滅し、ヒートアップが開始されます。





2 準備完了

約 6 分後、本体ハンドル部のお知らせランプが緑色の点灯に変わると、使用準備完了です。



MEMO

- ヒートアップ終了までの時間は、水温と水量によって異なります。

洗浄を開始する

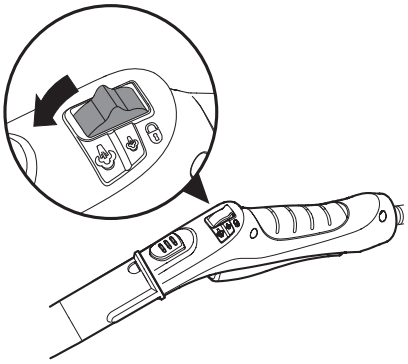
1 スチームレバーのロックを解除する

ロックスイッチを前方にスライドさせ、スチームレバーのロックを解除します。ロックスイッチは、以下の 3 段階を選択できます。

スチーム強
スチームの噴出量は最大になります。

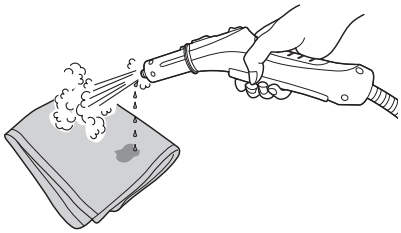
スチーム弱
スチームの噴出量が半分程度になります。

ロック
スチームレバーがロックされます。スチームは噴出しません。



2 スチームレバーを握り、スチームを出す

洗浄対象にスチームを当てる前に、スチームの噴出状態を確認してください。安定しない場合は、排水口や使わない布などに向けて、30 秒程度スチームレバーを握ってください。



アクセサリーを取り付ける

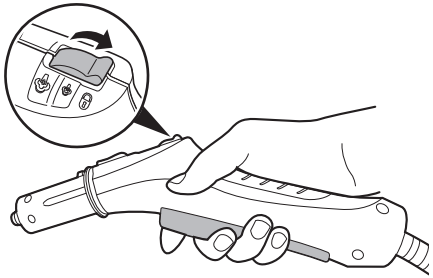
各種アクセサリーの取り付け方

⚠注意	**• アクセサリーを脱着する前に、スチームレバーをロックしてください。誤ってスチームレバーに触れ、スチームが噴出しヤケドを負う恐れがあります。** **• アクセサリーは確実に取り付けてください。ロックされていない場合、スチームが漏れ、ヤケドを負う恐れがあります。**

ノズルヘッドや延長パイプなどの各種アクセサリーは、ワンタッチで脱着できます。

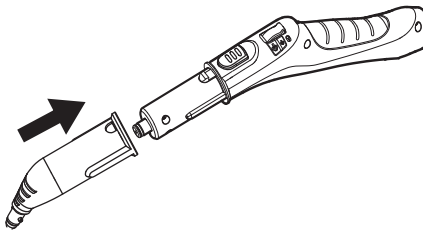
1 スチームレバーをロックする

スチームレバーロックをロック位置〔🔒〕にスライドさせ、スチームレバーをロックします。

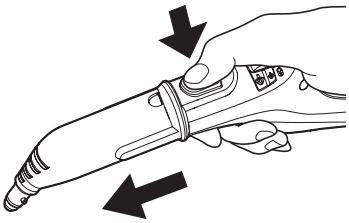


2 アクセサリーを差し込む

カチッと音がするまで差し込みます。確実にロックされ、抜けないことを確認します。



取り外すときは、アクセサリーロックボタンを押しながらアクセサリーを引き抜きます。

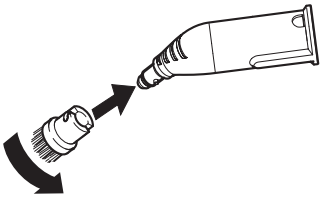


ノズルヘッドとブラシの取り付け

1 ブラシを取り付ける

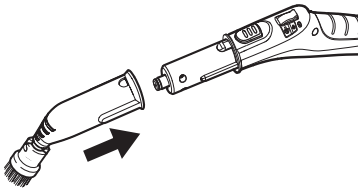
ノズルヘッド先端の突起にブラシ根元の溝を合わせて挿入し、右に回して固定します。

取り外すときは、ブラシを左に回して引き抜きます。



2 ノズルヘッドを取り付ける

カチッと音がするまで差し込みます。確実にロックされ、抜けないことを確認します。



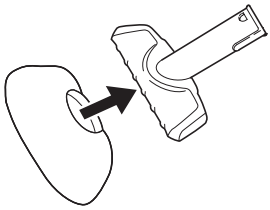
MEMO

- 洗浄を始める前に、スチームの噴出状態を確認してください。» P.19「<使い始めの注意点>」

ハンドブラシとマイクロファイバーカバーの取り付け

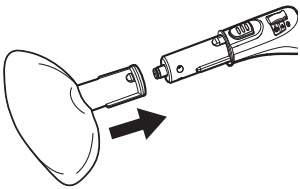
1 マイクロファイバーカバーを取り付ける

マイクロファイバーカバーをハンドブラシに被せます。



2 ハンドブラシを取り付ける

カチッと音がするまで差し込みます。
確実にロックされ、抜けないことを確認します。



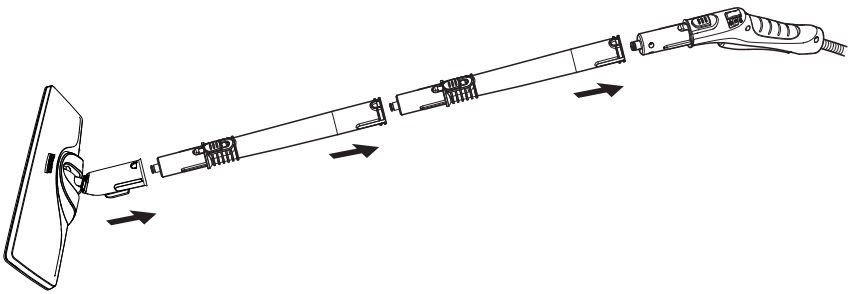
MEMO

- 洗浄を始める前に、スチームの噴出状態を確認してください。» P.19「<使い始めの注意点>」

フロアノズルの取り付け

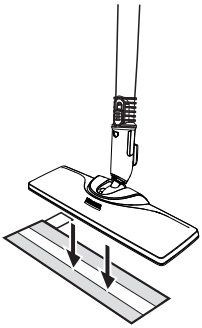
1 パイプ、フロアノズルを接続する

カチッと音がするまで差し込みます。
確実にロックされ、抜けないことを確認します。

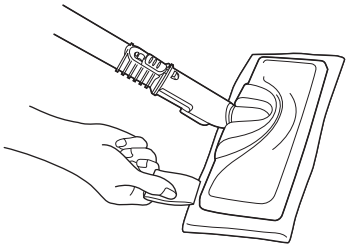


2 マイクロファイバークロスを取り付ける

マイクロファイバークロスの面ファスナー側を上に向けて置き、そこにフロアノズルを押し当てます。



取り外すときは、タグを持って下に引っぱりフロアノズルから剥がします。

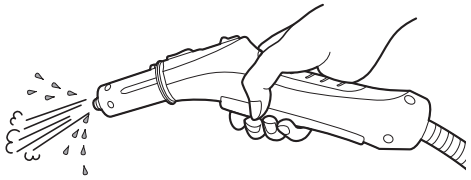


MEMO

- 洗浄を始める前に、スチームの噴出状態を確認してください。
» P. 19「＜使い始めの注意点＞」

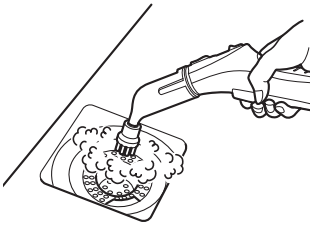
エリアごとの掃除方法

＜使い始めの注意点＞



使い始めは、お湯が出ます。洗浄を始める前にスチームレバーを握って、しっかりとスチームが出る状態になってから必要なアクセサリーを取り付けましょう。
アクセサリーの脱着を行うときは、事前に必ずスチームレバーをロックしてください。
» P.16「各種アクセサリーの取り付け方」

浴室・浴槽

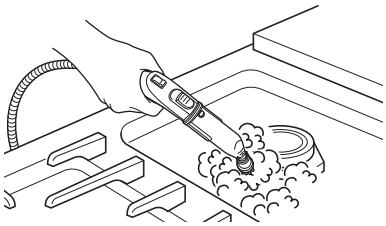


ノズルヘッド＋ブラシ
ノズルヘッドにブラシをセットして、こすり洗いします。

MEMO

- 何層にも重なっている汚れは、洗剤などが必要になる場合もあります。
- 表面についたカビは取れますが、色素がしみ込んで変色したものを落とす効果はありません。

ガステーブル・ガスコンロ



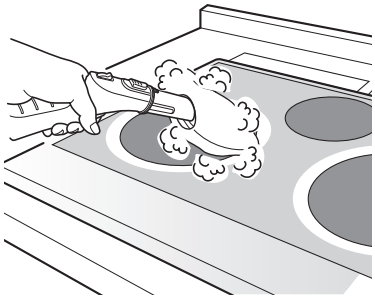
ノズルヘッド＋ブラシ
ノズルヘッド＋タオル
ノズルヘッドにブラシを取り付けてこすり洗いします。また、油汚れにはブラシにタオルなどを巻き付けて掃除します。

MEMO

- コゲや汚れがこびりついている場合、完全に汚れが取り除けないことがあります。

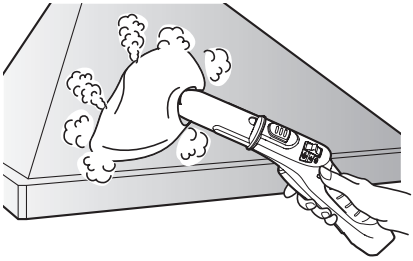
IH クッキングヒーター

ハンドブラシ+マイクロファイバーカバー
カバーを付けたハンドブラシを IH クッキングヒーターに当てて、ゆっくりと動かします。



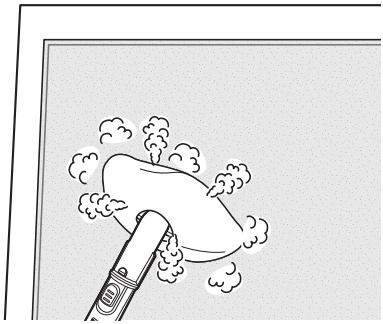
換気扇フード、キッチンの壁

ハンドブラシ+マイクロファイバーカバー
カバーを付けたハンドブラシを当てて、ゆっくりと動かします。



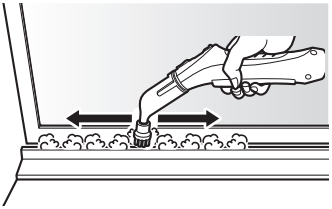
網戸

ハンドブラシ+マイクロファイバーカバー
カバーを付けたハンドブラシを網戸に当てて、ゆっくりと動かします。
カバーが汚れてきたら交換してください。

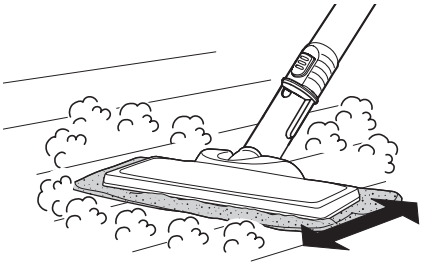


サッシレール

ノズルヘッド+ブラシ
ノズルヘッドにブラシをセットして、こすり洗いします。
細い溝の汚れはノズルヘッドで吹き飛ばします。



畳・カーペット・フローリング



フロアノズル＋マイクロファイバークロス
マイクロファイバークロスを取り付けたフロアノズルを床に当てて、スチームでクロスを温めながらゆっくりと動かして掃除します。

スチームを連続で出し続けると、すぐにクロスが濡れてきますので、以下の手順を繰り返します。

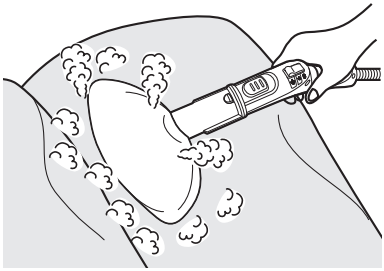
1 スチームレバーを 3 秒握りクロスを温める。
2 温まったらレバーを離して 3 秒程拭く。

スチームの吐出量が多い場合はスチームレバーロックを「弱」にしてください。
クロスが濡れてきたら交換してください。

MEMO

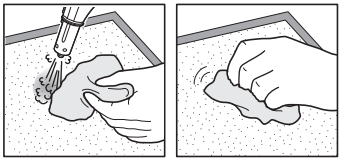
- カーペットなどのシミは、表と裏の両面から掃除すると効果的です。

ソファ・車のシート（布製）



ハンドブラシ＋マイクロファイバーカバー
カバーを付けたハンドブラシをソファに当てて、ゆっくりと動かします。
カバーが汚れてきたら交換してください。

ソファのシミは、以下の手順を数回繰り返します。

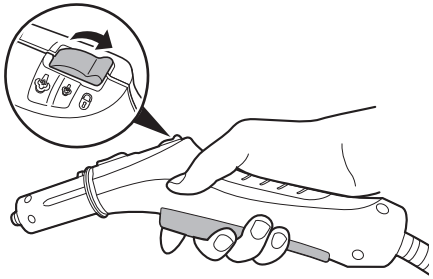


1 汚れのそばにタオルを用意し、ノズルヘッドを斜めにして汚れ部分にスチームを当て、奥のタオルに汚れを移します。
2 別の乾いたタオルでたたいて水分と汚れを取り除きます。

洗浄を中断、終了する

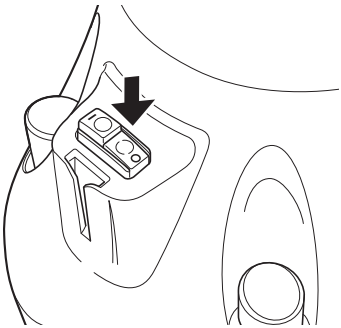
1 スチームレバーをロックする

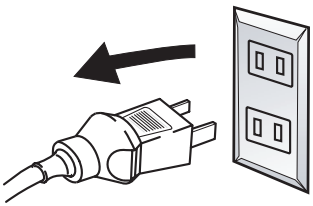
スチームレバーロックをロック位置〔🔒〕にスライドさせ、スチームレバーをロックします。



2 電源 OFF スイッチを押して電源を切り、電源プラグを抜く

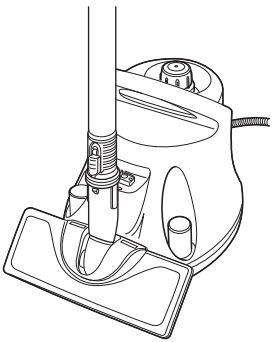
本体の電源 OFF スイッチ〔O〕を押します。本体ハンドル部のお知らせランプが消灯したことを確認し、電源プラグをコンセントから抜きます。





MEMO

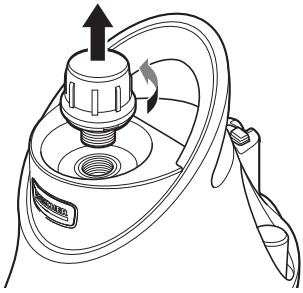
- 作業を中断する場合、フロアノズルを本体背面のホルダーに差し込んでおくことができます。



約 1 分間以上中断した後に作業を再開する場合は、ホース内の蒸気が冷えて湯が溜まっています。排水口や使わない布などに向けて 30 秒程度スチームレバーを握り、ホース内の湯を排出してください。

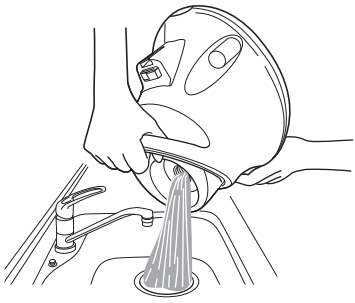
3 本体を冷ました後、ボイラーに残った水を捨てる

本体および安全バルブが人肌程度の温度以下に冷めたら、安全バルブを取り外します。
本体を逆さまにし、ボイラー内に残った水を捨てます。



MEMO

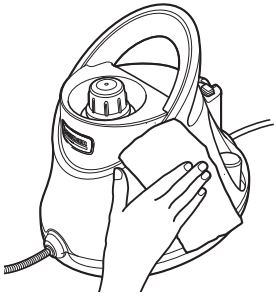
- ボイラーが人肌程度まで自然冷却されるには1～4時間程度かかります。



4 本体のお手入れを行う

タオルなどの柔らかい布をぬるま湯か中性洗剤に浸し、固く絞って本体の汚れや水滴を拭き取ります。

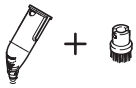
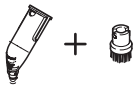
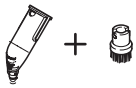
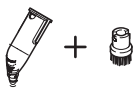
使用したマイクロファイバーカバーやマイクロファイバークロスは、繰り返し洗って使用できます。
中性洗剤で洗って乾燥させてください。



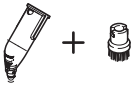
MEMO

- マイクロファイバーカバーやマイクロファイバークロスは洗濯機で洗うことができます。
- 柔軟剤は使用しないでください。

用途別一覧表

掃除をする場所・対象	汚れの種類	使用可否	使用するアクセサリー
浴室・浴槽	せっけん汚れ	○	 ノズルヘッド＋ブラシ
	黒カビ	△	
	赤カビ	○	
	ぬめり	○	
	水垢（白いうろこ状のカルシウム汚れ）	×	使用できません
鏡	せっけん汚れ	○	 ノズルヘッド＋ブラシ
	水垢（白いうろこ状のカルシウム汚れ）	×	使用できません
ガスコンロ	油汚れ	○	 ノズルヘッド＋ブラシ
	焦げつき	×	使用できません
IH クッキングヒーター	油汚れ	○	ハンドブラシ＋マイクロファイバーカバー
	焦げつき	×	使用できません
冷蔵庫内	-	○	ハンドブラシ＋マイクロファイバーカバー
電子レンジ庫内	油汚れ	○	ハンドブラシ＋マイクロファイバーカバー
換気扇	油汚れ	○	 ノズルヘッド＋ブラシ

	掃除の方法	注意事項
▶	スチームを当てながら、ブラッシングするように汚れを落とします。 » P. 19「浴室・浴槽」 汚れがひどくブラシでこすることが大変な時は、先端が振動して汚れを落とすスチームターボブラシが便利です。 » P. 32「オプションアクセサリー一覧」	何層にも重なっている汚れは、洗剤などが必要になる場合もあります。 表面についたカビは取れますが、色素がしみ込んで変色したものを落とす効果はありません。
	使用できません	
▶	スチームを当てながら、ブラッシングするように汚れを落とします。 » P. 19「浴室・浴槽」 汚れがひどくブラシでこすることが大変な時は、先端が振動して汚れを落とすスチームターボブラシが便利です。 » P. 32「オプションアクセサリー一覧」	2 秒以上同じ場所にスチームを当てないでください。 ひび割れなどの恐れがあります。
	使用できません	
▶	スチームを当てながら、ブラッシングするように汚れを落とします。 » P. 19「ガステーブル・ガスコンロ」 油が何層にも重なっている場合は、台所洗剤などを併用することにより、早く汚れを落とすことが出来ます。 汚れがひどくブラシでこすることが大変な時は、先端が振動して汚れを落とすスチームターボブラシが便利です。 » P. 32「オプションアクセサリー一覧」	
	使用できません	
▶	ハンドブラシにマイクロファイバーカバーを付けて拭き取るように汚れを落とします。 » P. 20「IH クッキングヒーター」	
	使用できません	
▶	ハンドブラシにマイクロファイバーカバーを付けて拭き取るように汚れを落とします。	庫内の空気口を避けて使用してください。 冷蔵庫が故障・破損する恐れがあります。
▶	ハンドブラシにマイクロファイバーカバーを付けて拭き取るように汚れを落とします。 スチームを弱にして素早くふき取ります。	
▶	スチームを当てながら、ブラッシングするように汚れを落とします。 油が何層にも重なっている場合は、台所洗剤などを併用することにより、早く汚れを落とすことが出来ます。 汚れがひどくブラシでこすることが大変な時は、先端が振動して汚れを落とすスチームターボブラシが便利です。 » P. 32「オプションアクセサリー一覧」	

掃除をする場所・対象	汚れの種類	使用可否	使用するアクセサリー
畳	皮脂汚れ	○	 フロアノズル＋マイクロファイバークロス
絨毯やカーペット	皮脂汚れ	○	 ノズルヘッド
	食べこぼし		
フローリング	皮脂汚れ	○	 フロアノズル＋マイクロファイバークロス
窓	ホコリ	○	 ノズルヘッド＋窓用スクイジー
	皮脂汚れ		
網戸	ホコリ		 ハンドブラシ＋マイクロファイバーカバー
自動車内 （布張りのシートであれば使用できます。）	皮脂汚れ	○	 ハンドブラシ＋マイクロファイバーカバー
	ホコリ		
大理石	-	変色や変質の可能性があります。ご使用の大理石のメーカーにお問合せください。	
ゴム素材 皮・レザー	-	△	 ハンドブラシ＋マイクロファイバーカバー
ビニールやポリエチレンなどのフィルム素材	-	×	使用できません
タイル	-	○	 ノズルヘッド＋ブラシ

掃除の方法	注意事項
フロアノズルにマイクロファイバークロスを取り付け、掃除機をかけるように動かして汚れを落とします。 » P. 21「畳・カーペット・フローリング」	一か所に集中してスチームを当てないようにしてください。 変色する恐れがあります。 事前に目立たない箇所で試してください。
ノズルヘッドで汚れた部分にスチームをあて吹き飛ばすようにして汚れを落とします。 » P. 21「畳・カーペット・フローリング」	スチームを使用するため、掃除後は水分を含んでいます。掃除後は窓を開けて乾燥させてください。
フロアノズルにマイクロファイバークロスを取り付け、掃除機をかけるように動かして汚れを落とします。 » P. 21「畳・カーペット・フローリング」	スチームを長時間当て続けると、熱でワックスが剥がれる可能性があります。 事前に目立たない箇所で試してください。
窓の掃除は、スチームをさっとあてて、付属のスクイジーで水分を拭き取るとキレイになります。	ワイヤーが入った防火タイプのガラスなどは割れやすいため使用できません。
ハンドブラシにマイクロファイバーカバーを付けて拭き取るように汚れを落とします。 » P. 20「網戸」	1か所に集中的に行うと網戸が切れたり、溶けたりする可能性があります。
ハンドブラシにマイクロファイバーカバーを付けて拭き取るように汚れを落とします。 » P. 21「ソファ・車のシート（布製）」	変形や変質の可能性があります。事前に目立たない箇所で試してください。一か所に集中してスチームを当てないようにしてください。塗装を傷める可能性がありますので、外装には使用できません。
変色や変質の可能性があります。ご使用の大理石のメーカーにお問合せください。	
ハンドブラシにマイクロファイバーカバーを付けて拭き取るように汚れを落とします。	変形や変質の可能性があります。 事前に目立たない箇所で試してください。 一か所に集中してスチームを当てないようにしてください。
使用できません	
スチームを当てながら、ブラッシングするように汚れを落とします。 汚れがひどくブラシでこすることが大変な時は、先端が振動して汚れを落とすスチームターボブラシが便利です。 » P. 32「オプションアクセサリー一覧」	継ぎ合わせ部のコーキング材が熱に弱い場合は使用できません。 コーキングの目地に粘着した汚れは落ちない場合があります。

ボイラーのすすぎと洗浄

ボイラー内にスケール（水あか）が付着するのを予防するため、定期的にボイラーのすすぎと洗浄を行ってください。使用を重ねていくと、ボイラー内部にスケール（水あか）が付着し、温度が上がりにくくなります。また、スケールの付着は故障の原因にもなります。

水ですすぐ

⚠注意	• 本体が完全に冷めてから行ってください。 • 本体を振るときに落とさないよう、しっかりと保持してください。

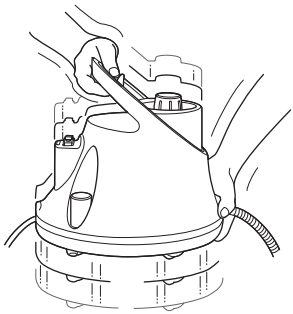
すすぎの目安：使用 10 回ごと

1 本体が冷めるまで待ち、残っている水を捨てる

電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めるまで待ちます。
安全バルブを取り外し、ボイラー内に残っている水を捨てます。

2 ボイラーに水を入れ、よく振る

ボイラーに水を入れ、安全バルブを取り付けます。
片手でハンドルを握り、もう片方の手で本体下側をしっかりと持ち、上下左右によく振ります。



3 ボイラー内の水を捨てる

安全バルブを取り外し、ボイラー内の水を捨てます。

4 手順 2-3 を 3 回繰り返す

ボイラー洗浄剤を使用して洗浄する

オプションアクセサリーのボイラー洗浄剤を購入してください。
» P. 32「オプションアクセサリー一覧」

点検と保管

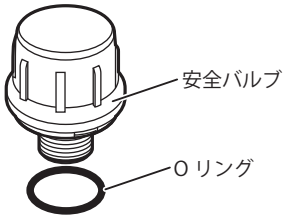
⚠警告	**• O リングに亀裂やひび割れがある場合は、使用しないでください。スチームが漏れ、ヤケドを負う恐れがあります。**

使用前点検

使用前に、安全バルブと各アクセサリーの O リングを点検してください。
O リングに亀裂やひび割れ、脱落などが認められる場合は、新品の O リングに交換してください。

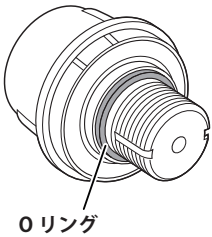
安全バルブ

安全バルブおよびO リングは、定期的な交換が必要です。



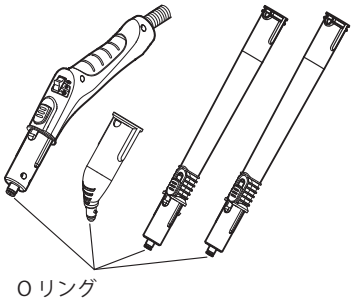
交換時期
安全バルブ：約 1000 作業時間 * ごと
安全バルブ O リング：約 200 作業時間ごと
* 作業時間とは、加熱または保温状態の累積時間です。

交換時期に到達していなくても、損傷がある場合は新品に交換してください。



各アクセサリー

接続部分の O リングを確認してください。
亀裂やひび割れ、脱落などが認められる場合は、新品に交換してください。



定期点検

末永く安全にお使いいただくため、有償にて定期点検を受けることをお勧めします。

作業時間の累積が 500 時間 /1000 時間を超えたときには、ケルヒャー ジャパン修理センターで有償点検を受けてください。

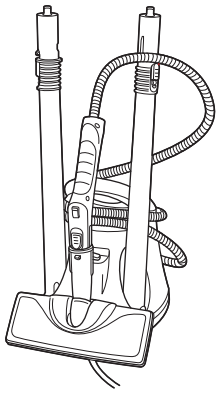
点検を受けずにそのまま使用を続けた場合、安全バルブからのスチーム漏れ、ボイラーの作動不良や加熱などにより、ヤケドやケガを負う恐れがあります。

交換部品のお求めや有償定期点検のご相談は、お買上げの販売店またはお客様専用ダイヤルまでお問い合わせください。

保管

⚠注意	• **ボイラーの水を捨て、安全バルブを軽く締めた状態で保管してください。** • **凍結しない場所に保管してください。**

本機を長期間使用しない場合は、以下のように収納します。

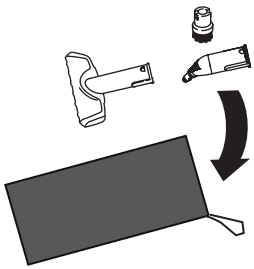


1 **ボイラーのすすぎを行う** » **28 ページ**

2 **ヘッドにフロアノズルを取り付ける**

3 **延長パイプをパイプホルダーに差し込み、スチームホースと電源コードを本体に巻き付ける**

4 **アクセサリー類をアクセサリーバッグに収納する**



困ったときは

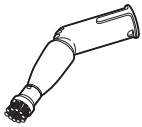
故障かな？と思ったら以下のことをお確かめください。
それでも解決しない場合は、お客様専用ダイヤル（0120-60-3140）までお問い合わせください。

このようなとき	考えられる原因	対処方法
スチームが出ない	電源プラグがコンセントに差し込まれていない	▶ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	本体のスイッチが入っていない	▶ 電源オンスイッチを押し、お知らせランプ（赤色）の点灯を確認する。
	水が不足している	▶ 本体が人肌に冷めるのを待って、給水を行ってください。
スチームが弱くなる	連続使用でボイラー温度が低下している	▶ 1～2分作業を中断し、お知らせランプが赤色から緑色に点灯するまで待ってください。
スチームが水っぽいお湯になる	作業開始直後や中断から再開直後で、スチームホースに湯がたまっている	▶ スチームホース内の湯を布などに向けて排出してください。
	規定量（1.0L）以上にボイラーに給水している	▶ 本体が冷めるのを待って安全バルブを開け、規定量以下まで水を捨ててください。
スチームレバーが握れない	スチームレバーがロックされている	▶ ロックを解除してください。
本体下部より水漏れする	ボイラーが破損している可能性あり	▶ 使用をただちに中止し、お買上げの販売店またはお客様専用ダイヤルにお問い合わせください。
安全バルブが空回りして外れない	本体が十分に冷めていない	▶ 本体を1～4時間程度冷まし、それでも外れない場合は、一日おいてから取り外してください。
本体が冷めた状態でも安全バルブが外れない。左に回せない。	ボイラーに圧が残っている	▶ スチームレバーを握り、ボイラー内の残圧を下げてください。
	安全バルブがきつく閉まっている	▶ お客様専用ダイヤルにお問い合わせください。
安全バルブからスチームが漏れる	安全バルブが閉まっていない	▶ 電源プラグを抜き、本体が冷めるのを待って安全バルブを閉めてください。
	安全バルブのOリングが損傷している	▶ 電源プラグを抜き、本体が冷めるのを待って安全バルブを点検してください。Oリングが損傷している場合は交換してください。
お知らせランプが点灯しない	電源プラグがコンセントに差し込まれていない	▶ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	本体のセンサーが作動している	▶ お客様専用ダイヤルにお問い合わせください。
ノズルなどの接続が固い	接続部分のOリングが硬化、または損傷している	▶ 接続が固い場合は水をつけるとスムーズに接続できます。硬化または損傷している場合は交換してください。

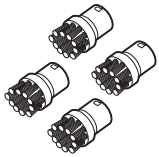
オプションアクセサリー一覧

仕様変更などにより製品の形状が図と一致しない場合があります。
注文番号は予告なく変更になる場合があります。

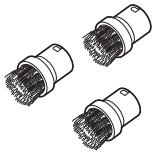
窓用ノズル
注文番号：2.863-025.0



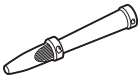
スチームターボブラシ
注文番号：2.863-159.0



ブラシ４個組
黒２個 黄２個
注文番号：2.863-282.0



ブラシ３個組
（真ちゅう製）
注文番号：2.863-061.0

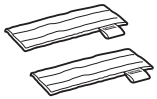


ノズルセット
注文番号：2.863-263.0

ボイラー洗浄剤パウダータイプ
品番：6.295-982.0

ビッグブラシ
品番：2.863-022.0

ビッグブラシ用カバー
品番：2.863-243.0

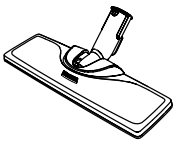
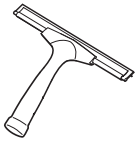
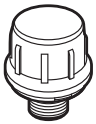
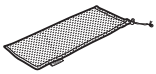


イージフィックス用マイクロファイバークロスセット
２枚組
品番：2.863-296.0

ハンドブラシ用マイクロファイバーカバー
２枚組
品番：2.863-270.0

補修部品

仕様変更などにより製品の形状が図と一致しない場合があります。
注文番号は予告なく変更になる場合があります。

 **イージフィックス フロアノズル** **品番：4.130-035.0**	**ハンドブラシ** **品番：2.884-280.0**
ノズルヘッド **品番：4.130-021.0**	**パイプ** **※１本での注文番号です。** **品番：4.127-024.0**
 **窓用スクイジー** **品番：4.512-056.0**	**パイプ、ホース一体型ヘッド用 O リング** **品番：6.362-922.0**
ノズルヘッド用 O リング **注文番号：6.362-186.0**	 **安全バルブ** **品番：4.590-007.0**
安全バルブ用 O リング **品番：6.363-468.0**	 **製品名：アクセサリーバッグ ラージ** **品番：6.516-002.0**
計量カップ **品番：5.394-986.0**	

保証書

お買い上げいただいたケルヒャー製品に万一不具合が生じた場合には、この保証規定に従い保証いたします。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

■ 保証の内容
お買い上げいただきました製品を構成する純正部品の材料または製造上の不具合が起きた場合、ケルヒャー ジャパン株式会社修理センターで無料修理をいたします（この無料修理を保証修理といいます）。保証修理は部品の交換あるいは補修により行います。また、取り外した不具合部品は当社所有といたします。保証修理を受けられる期間は新品を購入した日から 1 年間とします。

■ 保証できない事項
● 修理の際の輸送費用
● 次に示すものに起因すると判定される故障は、保証修理いたしません。
- 取扱説明書の指示に反する使用
- 保守整備の不備または間違い
- 当社が提示している仕様の限界を超える使用（規定以上の長さの延長コードを使用した場合の電圧降下や、業務などで定格使用時間を著しく超えた連続使用など）
- 当社が認めていない改造
- 純正部品および指定する油脂類以外の使用
- ご使用者の不注意による故障（凍結、ボイラー内への異物混入、落下による故障など）
- 業務で使用した場合

● 次に示すものは保証修理いたしません。
- 経年変化により発生した不具合
- プラスチックカバーなどの自然退色、ホースのひび割れ、O リングの劣化、部材劣化に伴う性能低下など
- 使用に際し品質、機能上影響のない感覚的現象（音、振動など）
- 台風、水害、雪害などの天災による不具合
- 薬品、塩害などに起因する不具合

● 次に示すものの費用は負担いたしません。
- 消耗品（油脂、ノズル、安全バルブ、O リング、パッキン、バルブ、ホース、ブラシ、パット、クロス、およびこれらに類する消耗品）
- ケルヒャー ジャパン以外での修理
- 点検、清掃、調整、及び定期点検整備
- この保証書に示す条件以外の補修費用など
- 本機を使用できなかったことによる不便さ及び損失など（休業損失、商業損失など）
- 洗浄対象物に損傷、破損、変色などが生じた場合
- 正しく操作せずにケガを負った場合

● 出張修理はいたしません。
修理はお買い求めいただいた販売店またはケルヒャー ジャパンへご依頼ください。

■ 保証の適用
この保証は日本国内で使用される当社製品のみに適用されます。
海外へ持ち出す場合は、その時点で保証が抹消されます。

■ 保証修理の受け方
保証修理をお受けになる場合は、下記保証書の各項目にご記入いただき、お買い上げいただいた際のレシート／納品書を添付の上、保証修理をお申し付けください。
製造番号は、製品の底面に貼られている銀色のラベルに記載されています。

■ 保証修理の申し込み方法
ご購入の際に受領されたレシートあるいは納品書と下記保証書を添付の上、お買い上げいただいた販売店にお持ちいただくか、またはケルヒャー ジャパン株式会社修理センターまでお送りください。ご不明な点がございましたらお客様専用ダイヤルまでご連絡ください。お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

製品名	SC JTK 20
保証期間	1 年
製造番号【シリアル No.】	
お買い上げ日	
お客様情報	お名前： ご住所： 電話番号：
販売店情報	店名： 住所： 電話番号：
故障状況	

ケルヒャー ジャパン株式会社
本社住所：〒 222-0032 神奈川県横浜市港北区大豆戸町 639 番 3
TEL：045-438-1400

製品を長くご愛用いただくために「ユーザー登録」いただいたお客様に、サポート情報やキャンペーン情報をメールでお送りしています。ホームページ上部より「サービス」→「家庭用製品」「ユーザー登録」→「ユーザー登録（1 年保証）はこちら」からご登録ください。
ケルヒャーホームページアドレス：www.kaercher.com/jp/

製品に関するお問い合わせ

お客様専用ダイヤル

0120-60-3140

受付日　：　月曜日〜金曜日（祝日、当社休日を除く）
受付時間：　9:00 〜 12:00、13:00 〜 17:00

修理品送り先

〒981-3408　宮城県黒川郡大和町松坂平 3-2

ケルヒャー ジャパン株式会社
仙台修理センター　宛

0120-60-3140

修理品をお送りいただく際には、ご購入日がわかるもの
（保証期間内に限る）と 34-35 ページの保証書に故障状況をご記入の
上、必ず同梱してください。

1. 保証書が 34-35 ページに添付されています。レシート、領収書、販売証明書、納品書などのご購入日がわかるものと一緒に大切に保管してください。
2. 保証書の保証内容、保証規定をよくお読みください。
3. 保証期間は保証書に記載されています。
4. 保証期間終了後の修理につきましては、下記の QR コードより、当社ホームページの「家庭用製品 修理・アフターサービス」にてご確認いただけます。もしくは、製品をご購入いただいた販売店または上記お客様専用ダイヤルまでお問い合わせください。